



















				態度・志向		知識・理解		技能・伝達		総合・統合
科目名	単位	学期	①	②			①	②		
法律領域					○	○	◎		○	
◎【技能・伝達①】各法領域における専門的知識と情報を収集して、具体的な問題の解決に向けた技能を習得し、その解決モデルを提示できる。										
○【態度・志向②】専門的知識を活用して、具体的な法律問題について妥当な解決を図ることができるようになり、いわゆるリーガルマインドが身につけられる。										
○【知識・理解】企業の諸活動に関係する法の専門的知識を把握し、各分野における現代的課題を発見することができる。										
○【総合・統合】国内及び国際的な企業活動に関する法的専門分野の研究を通じて、国際的・地球的視野を背景とする、より総合的な問題把握と処理の方法を知ることができる。										
行政法Ⅰ	2	3	前		○	○	◎			
担保物権法	2	3	前		○	○	◎			
支払決済法	2	3	前		○	○	◎			
労働法	2	3	前		○	○	◎			
国際私法	2	3	前			○	◎		○	
民事手続法	2	3	前				◎	○	○	
消費者法	2	3	前		◎			○	○	
親族相続法	2	3	前		○			◎	○	
法学課題研究Ⅲ	2	3	前	○				○	◎	
行政法Ⅱ	2	3	後			○	◎		○	
社会保障法	2	3	後			○	◎		○	
法と経済	2	3	後		○		○		◎	
知的財産法	2	3	後			○	◎		○	
国際関係法	2	3	後			○	◎	○		
刑事法	2	3	後		○	○	◎			
経済法	2	3	後			○	◎		○	
法学課題研究Ⅳ	2	3	後	○				○	◎	
				態度・志向		知識・理解		技能・伝達		総合・統合
科目名	単位	学期	①	②			①	②		
関連領域						○		○	◎	
◎【総合・統合】経済学や政治学、行政学などの諸理論を理解し、現実の現象や社会活動に深い関心を持ち、具体的な活動に積極的に取り組むことができる。										
○【知識・理解】経済学や政治学、行政学などの各分野の専門的知識を身につけ、現実社会の諸相について理解することができる。										
○【技能・伝達②】専門知識の習得を踏まえて、他者と現実の諸問題について議論することができる。										
地域政策論	2	3	前	○		○	○		◎	
国際関係論	2	3	前		○	◎				
経済政策	2	3	前	○		◎		○		
行政学	2	3	前			○			◎	
経済学課題研究Ⅰ	2	3	前	○				○	◎	
現代政治論	2	3	後			○			◎	
地域観光論	2	3	後		○	○			◎	
アジア経済論	2	3	後			○		○	◎	
経済学課題研究Ⅱ	2	3	後	○				○	◎	

地 域 探 究				ディプロマ・ポリシーの到達程度					
				態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
				①	②		①	②	
科目名	単位	学期	○			◎	○	◎	
◎【技能・伝達①】自らの問題意識に基づき社会現象、協働現象を分析して問題を発見し、課題を見出すことができる。									
◎【総合・統合】獲得した知識と知見を活用し、自ら見出した課題の具体的な解決に向けた方途を示すことができる。									
○【態度・志向①】より良い人間関係や社会の構築に向けて、何が問題であるのかを見出すための基本的態度を身につけている。									
○【技能・伝達②】自らが見出した課題、解決策について、プレゼンテーションを通して他者に明確に提示できる。									
地域探究アクト	2	2	通年	○			◎	○	
短期海外アクトⅠ	2	2	通年	○				○	◎
地域密着アクト	2	3	通年	○				○	◎
短期海外アクトⅡ	2	3	通年	○				○	◎

専 門 演 習				ディプロマ・ポリシーの到達程度					
				態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
				①	②		①	②	
科目名	単位	学期		○	○	◎	◎	◎	
◎【技能・伝達①】具体的な問題解決のために、専門的知識を活用して問題を分析し、評価することができる。									
◎【技能・伝達②】社会や企業に関する情報収集に基づく問題解決モデル・方向性を示し、説得する能力を身につける。									
◎【総合・統合】各分野の専門的知識を活用し、さらに関係領域の知識や社会的諸価値を背景に具体的な問題解決のための提案をすることができる。									
○【態度・志向②】経営と法律を中心とする専門分野のみならず、幅広い知識と教養を身に付け、かつ当該の専門分野の発展へ自ら寄与しようとする意欲を持つことができる。									
○【知識・理解】広範な基礎知識の修得から各分野での高度な専門的知識の把握まで行うことができる。									
専門演習Ⅰ	②	2	通年		◎	○	○		
専門演習Ⅱ	②	3	通年		○	○	◎		○
専門演習Ⅲ (卒業論文)	④	4	通年			○		◎	◎